科目コード	R5030	科目名	人間発達学				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	平尾　文						
授業の概要	人間（赤ちゃん）の発達について、特に胎生期から生後1年間の発達について学習・体験し、理解に繋げます。 実技を通して、特にどの時期の何が重要かを体験します。 人間発達（赤ちゃん）に対する理解が深まると、赤ちゃんのすごさ・面白さがわかります。						

DPとの関連		
	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける	◎
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける	◎
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける	○
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける	○
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください	
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	・人間発達を学ぶ意義を3つ列挙できるようになる ・コミュニケーションとは何かを説明できるようになる ・人間の発達に必要となる要素を3つ列挙できるようになる
履修上の注意事項	・課題の提出期限を守ってください ・配布資料は大事に保管してください ・授業態度が不適切な場合は、厳重注意をすることがあります

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	なぜ人間発達を学ぶ？　コミュニケーションとは？	コミュニケーションとは何かを考えておく（60分）
2	胎生期・新生児期について（動画を用いての学習）	動画内の胎内の赤ちゃんの笑顔や動きについてイメージをする（60分）
3	姿勢反射・反応について	姿勢反射・反応の統合の時期について考える（60分）
4	運動発達について①（0か月～3か月動画を用いての学習）	0～3か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）
5	運動発達について②（4か月～6か月動画を用いての学習）	0～3か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）
6	運動発達について③（7か月～9か月動画を用いての学習）	7～9か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）
7	運動発達について④（10か月～12か月動画を用いての学習）	10～12か月の赤ちゃんの動きについて、復習する（60分）
8	運動発達について⑤（12か月～14か月動画を用いての学習）	12～14か月の赤ちゃんの動きについて復習する（60分）
9	手の発達について	手の発達について、図を観ながら真似をしてみる（60分）
10	認知・感覚について	認知の発達について、日常生活の中でどの様なことがあるのか具体例を3つ考える（60分）
11	遊びについて	屋外での遊び体験が、具体的にどのような能力に繋がるのかを考える（60分）
12	摂食について（摂食実技：食物の固さによる身体の変化を体験する）	自分の日常の食事を考え、どの様な固さのものが多いか考える（60分）
13	言葉の発達について	子どもの言葉の発達について、どの様なことが影響するのかを復習する（60分）
14	発達検査について	発達検査の正式名称および対象年齢を理解する（60分）
15	第1回～14回までのダイジェストのまとめ	この授業を振り返り、赤ちゃんの発達に何が重要であるかを考える（60分）

成績評価方法	期末試験（60%）・提出物（40%）にて総合評価します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	イラストでわかる人間発達学・上杉雅之（医歯薬出版株式会社）	978-4-263-21945-4
	食卓の向こう側＋健康は口から　コミック編	978-4-88345-140-1
参考書		

教員からのメッセージ	面白い内容です。自ら学びを楽しんでください。
教員との連絡方法	パソコンのアドレスまでメールを送ってください。aya.72710@hcu.ac.jp
実務経験のある教員	小児専門の作業療法士として、15年間の病院での勤務経験を持つ。その間に担当した子どもさん約600人。 こちらの経験を基に人間（赤ちゃん）の発達について、実技を交えて楽しみながら学ぶ授業です。